

幸世だより

2024年 -第8号-

＝発行＝
幸世自治振興会

＝編集＝
幸世地域づくり運営委員会
TEL/FAX(0795)82-5038

【発行：令和6年2月】



ごあいさつ

幸世自治振興会 会長

田中健治

幸世地域の皆様におかれましては、つつがなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

元旦に石川県で「令和六年能登半島地震」が発生いたしました。いづくに起きるか分からない気候変動が地球上の各地で発生している現状をみますと、地域におけるコミュニティが益々重要になってまいります。幸世自治振興会では、昨年、「ほっこりさちよサポート会議」を立上げ、高齢化に伴う様々な地域課題の解消に取り組まれている民生委員さんや自治会長さんに向けて適切な情報提供等を行っていくこととしました。

ところで、昨年は、長かったコロナ対策が全面解除となり、イベントもほぼ当初計画どおり実施できました。特に新規事業の「さちよ花火大会」では、事業所様に快くご協賛を頂き実施することができましたこと厚く御礼を申し上げます。イルミネーションとの同時開催で少し寒い中ではありましたが多くの方々にご来場いただき、夜空いっぱい広がる花火を見ていただき、ほっこりして頂けたことと思います。

終わりに、この度南御油出身で日展会員の吉居寛子様から彫像の作品を寄贈して頂きました。交流施設の玄関に皆様をお迎えするように展示させていただいております。ぜひお越し頂きご覧ください。

本年も尚一層のご支援、ご協力をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

さちよ元気まつりを終えて



文化活動展も同時開催

令和元年以降コロナ禍で行えなかったこの行事も四年ぶりの開催となりました。
当日は天候にも恵まれ、模擬店やアトラクション等を企画し、約四〇〇名弱の区民の方々に、楽しんでいただきました。自治会長、役員等久しぶりの開催のため戸惑いもありましたが、喜んでいただけたいと思います。

令和五年度さちよ元気まつり実行委員長 十倉 正行

さちよの冬空に700発…

盛大に開催



「魅力あるさちよを目指して」をキャッチコピーに初めての取り組みとして、さちよ花火大会を無事開催することができました。幸世地区内外の皆様方のご支援に厚くお礼申し上げます。
たくさんの方々の参加のもと、ボランティア、PTA、消防団及び各自治会長の皆様方に寒い中にもかかわらずご協力いただいた賜物です。これこそ地域力であると思います。ほんとうにありがとうございました。
終了後の帰り際には、たくさんの方々が「きれかったね」「よかったね」との声に疲れも払拭された一日でした。

さちよ花火大会実行委員長 中川 泰一

≡ 幸世地域づくり運営委員会の活動 ≡



川で遊ぼう



炎の登り龍



とんど大会の餅つき



第1部会

部長 足立幸広

今年度の「川で遊ぼう」は、七月十六日に柳町橋南側の河川敷で実施しました。大阪から帰省して参加された親子連れもありました。

四年ぶりとなった「元氣まつり」は、晴天の下一〇月十五日に無事終えました。十二月二日には「イルミネーション」の点灯式と併せて「花火大会」を行いました。初めての試みでしたが、大勢の観客が冬の夜空の花火を堪能しました。

一月十四日には、「とんど大会」を北小運動場で行いました。快晴の下、餅つきに参加した子どもたちは大喜びでした。



グラウンドゴルフ大会



ゴルフ大会



救急救命講習会



クリーン作戦

第2部会

部長 芦田龍太郎

第二部会は、防災・自然・歴史・ふるさとづくりをテーマに八事業に取り組みました。

七月四日の救急救命講習をはじめ、第十四回幸世グラウンドゴルフ大会、第四回幸世ゴルフ大会などが開催されました。一方、区民運動会、ソフトボール大会、卓球大会、ふるさとウォーキングは、参加希望自治会や参加者が少なく中止となりました。

高齢化、少子化、趣味の多様化等の要因は考えられますが、来年度に向けてアイデアがありましたらどしどしお寄せ下さい。



情報発信研修会



広報さちよ編集会議

第3部会

前田洋二

年二回発行の「幸世だより」では自治振興会の活動やイベントの報告、地域の有志の活動等、皆さんに身近な話題を紹介しました。

部会内では情報発信研修会を実施し、各種活動への参加を募るチラシ作りやホームページ更新に取り組みました。アイデアを出し合い、美しい写真も交え、地域への情報発信に努めました。

まだ幸世自治振興会のホームページをご覧になっていない方、ぜひアクセスを♪



幸世自治振興会のホームページ



イベントチラシ編集会議

作品を寄贈いただきました



吉居さんと寄贈作品「Wish X」—まとう—

南御油出身の彫刻家・吉居寛子さんから作品を寄贈いただきました。吉居さんは、一九八四（昭和五九）年に日展初入選以降、二〇〇四（平成一六）年、二〇〇八（平成二〇）年には特選を受賞されているほか日彫展でも数多くの賞を受賞されています。また、日展審査員、日彫展審査員も務めておられます。

今回寄贈いただいた美しい座像は、施設を訪れる多くの人に感動と喜び、豊かな心を与えてくれるものと期待しています。

未来塾・ふれあい教室



人権の歴史を学ぶ



未来に向かって進んでいく力をつける

今年も子どもたちの学びを地域の豊かな教育力で応援する「さちよ未来塾」を夏休みの四日間開講しました。

また、北小学校六年生に豊かな人権感覚を培ってもらうことを目的にふれあい教室を開催し、水平社博物館を見学しました。

さちよ若者交流会 会員募集中

私たちは、「幸世を元気に！たのしく」するために元気祭りの出店、イルミネーション等で活動しています。現在、20～40代の9名です。モットーは、「やるからには、自分たちがまず楽しく！」です。一緒に、楽しく幸世を元気にしませんか？

代表 上山修平（連絡：82-5038 幸世交流施設）

一緒に幸世で
面白いことやろうよ！
って方はいつでも



幸世ボランティアグループ 会員募集中

幸世ボランティアグループは、十九人の会員で構成しています。

月に一回、第三日曜日に子ども食堂を又、第一・第四月曜日午後一時～三時まで、コーヒーと焼きもちでふれあいサロンを開催しております。

ご近所さん、お友達と楽しいお話の場として午後のひとときを活用していただければ幸いです。

みんなの居場所になればと思っております。会員同士、明るく、楽しく、元氣よくをモットーに活動しております。

代表 豊嶋重子（連絡八二五〇三八幸世交流施設）



今年の元氣まつりでもお焼きは好評でした

編集後記

暦を繰れば早くも雨水とか。日々薄紙を剥ぐように陽射しが和らいでいます。

今年は元旦から新年をことほぐ穏やかな気分を掻き消すように、能登半島地震の悲惨なニュースが席巻しました。被災地から届く災害状況の報道に、心を痛めない日はありません。一日も早いご再興をお祈りいたします。

さて、本会報では自治振興会活動の一年を振り返りました。各イベントや団体紹介など、こころ温まるものばかり。

こんな活動の積み重ねが、いかにかけがえのないものか、そして若者の会の萌芽がどれほど心丈夫かを、しみじみと逡巡するこの頃です。

最後になりましたが、これからも幸世自治振興会をよろしく願っています。

第三部会部長 由良俊也